

科目・コース（ユニット）名： 福島学
英語名称：Fukushima Studies

【担当責任者】 亀岡弥生（総合科学教育研究センター）、伊関憲（救急医療学講座）、
長谷川有史（放射線災害医療学講座）

【連絡先】 教育研修支援課 医学部教務係（斎藤雅之） TEL024-547-1095 内線 2040

【開講年次】 1 年、【学期】 通年、【必修／選択】 必修、

【授業形態】 講義・見学・発表会

【概要】「福島を知ってもらう」「福島を好きになってもらう」ということを目的に、福島の過去・現在から福島の将来について考える本授業を展開します。受講生が、福島の地域社会に対する理解を深め、県外の人々、さらに国外の人々に自らの言葉で福島について語れるようになることを期待します。福島県立医科大学の成り立ち、福島県そして日本における本大学の使命を理解し、福島県で活躍し、世界に立ち向かえる医師の育成をめざしています。

学外からも講師をお招きし、多角的な視点から福島についてお話をしていただき、4 月には福島県の名所旧跡を訪ねる見学会、10 月には東日本大震災に伴う原発事故の被災地の見学会（浜通り見学プログラム）を行います。

【学習目標】

- 1) 福島の魅力を発見し、作り出し、展開する営みについて説明できる。
- 2) 福島の歴史・文化を説明できる。
- 3) 福島県立医科大学の歴史を説明できる。
- 4) 自らが住む地域について自らの言葉で説明できる。

【教科書】 指定しない。

【参考書】

- ・『福島県立医科大学の歴史（増補改訂版）』福島県立医科大学・2018 年
- ・ACF 福島学シリーズ『新聞にみる福島の医療』歴史春秋社・2012 年

【成績評価方法】

学外見学会の参加は、必須である。講義、発表会の出席については、2/3 以上の出席を要する。成績評価は、見学会の事前レポートと事後レポートの内容で行う。

事前レポート：見学するコースについて事前に下調べを行い指定されたレポート用紙に手書きで記載し提出する。

事後レポート：見学会の後に、知り得た内容を指定されたレポート用紙に手書きで記載し提出する。

【学習上の注意事項】

学外から講師をお招きし、福島の魅力について紹介していただくので、「話を聞く態度」

を受講生が身につけることを期待します。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

4月21日の学外見学会は、以下の4グループの中から1つを選択する。なお、訪問先や天候の事情により変更の可能性がある。

白河コース：吉田富三記念館、白河市（小峰城、白河医術講義所碑など）

裏磐梯コース：磐梯山噴火記念館、猪苗代湖かわせみ水族館、五色沼など

奥会津コース：柳津虚空蔵尊、齋藤清美術館、只見線など

いわきコース：アクアマリン水族館、あぶくま水族館など

10月1日の浜通り見学プログラムでは、東日本大震災原子力災害伝承館、廃炉資料館などを見学する。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	26/4/14	火	4	（講）オリエンテーション	伊関・亀岡
2	26/4/14	火	5	（講）福島産業	伊関憲
3	26/4/14	火	6	（講）福島の医療産業	伊関憲
4	26/4/15	水	4	（講）福島県立医科大学について	伊関憲
5	26/4/15	水	5	（講）福島県立医科大学の歴史	伊関憲
6	26/4/15	水	6	（講）学外見学会の説明	伊関・亀岡
7～ 13	2026/4/21	火	1 ～ 7	福島学学外見学会 1 白河コース 裏磐梯コース 奥会津コース いわきコース	伊関・亀岡 ・その他
14	2026/4/28	水	4	（実習）見学発表会	伊関・亀岡
15	2026/4/28	水	5	（実習）見学発表会	伊関・亀岡
16～ 22	2026/10/1	木	1～7	福島学学外見学会 2 浜通り見学プログラム	長谷川有史・ その他

【担当教員】

教員氏名	職	所属
長谷川有史	教授	放射線災害医療学講座
亀岡弥生	教授	総合科学教育研究センター行動科学領域
伊関憲	教授	救急医療学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する